
Angel

桜希 澪乃

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Angel

【Nコード】

N7828C

【作者名】

桜希 澪乃

【あらすじ】

天使は存在する。僕の傍らに。僕の彼女として。それは比喻ではなく、本当に天使なんだ。天使なんだけれど……。。

天使ってさ、白くて、綺麗で、可愛くて…
きつと金髪碧眼で、誰にでも優しくして
そして誰からも愛される存在だよな。

なんて、考えてた。

今は、それを少し悔いている。

ピロリロピロリロ

携帯の、着メールの音。
きた。

『天国』からのラヴ・コールだ。
この音が鳴るたびに、むしろ気分は
STAR WARSのダースベイダー登場の気分だ。

チカチカと光るメール着信のランプ。
カチャリと開き、メールを見ると…。

『10分以内に迎えに来て』

もう、ただのアッシー（死語）だ…。
でも、僕は黙って従う。

彼女には…天使には、逆らえないのだ。

「遅い!!」

「う…ゴメン」

「ダメ、許さない。このまま海までドライブの刑、ケッター」

「ハイハイ」

レツツラ、ゴー!!

拳を振り上げて彼女、安樹は叫ぶ。

そのまま、助手席に当たり前に乗り込んで、早く早くと急かす。溜息ひとつして、僕は彼女に従う。

彼女は天使だ。

安樹、という名前も「Angel」からとっているのだという。という意味だけでなく、彼女は天使だ。

とりあえず、そういうことになっている。

別に、彼女は「電波」でもないし、虚言癖がある訳ではない。

俗に言う「天使」というカテゴリーに分類されるべき生態系?に基づいているから「天使」とされている。

そう、彼女はまぎれもなく「天使」なのだ。

要は、人ではない…らしい。

どこが、とか、どういう風に、といわれても説明できないが彼女は「天使」なのだ。

それがたとえ、金髪碧眼でなくても。白い羽なんて持っていないくて

も。

誰からも愛され、愛してくれる存在でなくても。

僕だけの天使…などとクサイ科白を言うつもりもなく、彼女は天使なのだ、一応。こんなんでも。

原油価格が高騰して、ガソリン代は日々ウナギ昇りの中、確実に片道50キロ以上もかかる海まで行け、と言われながら、内心トホホと呟いて。

それでも最近も「ハイオク満タン！」などとはもういえなくなつて久しいが、それでも僕は彼女のために車を走らせる。

鼻歌交じりで窓の外を眺める彼女は、確かに可愛い……が。ホレタ弱みなのか…どうなのか。

「うっみ、海、うみ、ウミ、海」

海に着くなり、彼女はしゃいで騒いで、はだして駆けずり回つて…。やたらとハイテンションだった。

もう、付き合いきれないくらい元気だ。

「うみうみうみうみ……」

「煩いよ、安樹」

「うみい、うみいいいい」

一人勝手に「海の歌」をオリジナルアレンジで歌いながら、彼女は子供のようにはしゃぐ。

天使のように…とは言わない。

なぜなら、何度も言うが、彼女はれっきとした天使だからだ。

天使らしからぬ天使、安樹ははしゃいで、叫んで歌って…傍若無人
振りを大いに発揮して、くたびれるまでトコトン全力で…そして。
いまは、助手席で眠っている。

あどけない、天使の微笑ですやすやと寝息を立てているのを見ると、
嬉しい反面、なんだか少しむかつく。
小悪魔、という表現がピッタリな天使。

僕を振り回すだけ振り回して、悪気もなく、ただ自由気ままに生き
ている天使。安樹。

「あらだって、天使は悪魔と双子の兄弟なのよ」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7828c/>

Angel

2010年10月15日20時20分発行